

令和8年度 彦根市立高宮小学校 経営管理全体計画（構想）

◎ 学校教育の重点

滋賀の教育の基本目標

未来を拓き心豊かでたくましい人づくり  
～『三方よし』で幸せ育む滋賀の教育～

彦根市教育基本方針

『心を磨き可能性を引き出す彦根の教育』  
～主体的に学びあい、自分らしく輝く未来をつくる～

◎ 4つの基本目標

- ◎ 4つの基本目標
- (1) 新しい価値を生み出す学習者主体の学びをつくる
- (2) 誰一人取り残さない共生社会をともにつくる
- (3) 地域の恵みを生かし、生涯にわたって学ぶ機会をつくる
- (4) 学び手の思いを実現する環境を整備する

◎ 本校の実態

生かしたい子どものよさ

- ①学習や物事に対して真面目に取り組める子どもが多い。
- ②学校が楽しいと思える子どもが多い。(91%)
- ③友だちを大切にしている子どもが多い。(98%)
- ④失敗を恐れずに挑戦しようとする意識が育成されてきている。(86%)
- ⑤自分で考え、みんなで話し合い、よりよいものを創造していこうとする意識や態度が育成されてきている。

教育課題

- ①個別の支援を要する困難な状況にある児童が多い。
- ②自分には良いところがあると思えない児童が多い。(24%)
- ③子どもの学力や体力に二極化の傾向が見られる。
- ④学力学習状況調査の結果より、自分の考えを言葉で記述する力が弱く、思考力・表現力の育成が課題である。
- ⑤周囲の状況に左右されやすく、自ら考え行動する力に課題がある。

学校教育目標

人と人が豊かにつながり、一人ひとりが輝く「たかみや」小学校  
～つながり(協働、多様性)、はばたき(挑戦、主体性)、かがやき(自立、自治の力)～

- 校訓 **至誠** (みんなのために尽くそうとする心) ○ 一校一行 あいさつは 笑顔こそ自分から

★めざす児童像

たくましい子	か ながえる子	み らいにむけてがんばる子	や さしい子
失敗を恐れずに挑戦できる子	自分で考え、言動できる子	目標をもち、努力を続ける子	自分も他者も大切にできる子

★めざす教職員像『子どもと向き合う教職員』 ・子どもの背景に目を向ける教職員 ・子どもの声に耳を傾ける教職員 ・子どもを受けとめ、共に成長する教職員  
『豊かにつながる教職員(ワンチームたかみや)』 ・多様性を認め合い、弱さを出し合える教職員・保護者とつながる教職員・地域とつながる教職員

本年度の重点目標

- (I) 相互につながり合い、主体的に社会に参画する子どもの育成を図る。
- (II) 学級会で身につけた話し合いスキルを教科学習に生かすとともに、すべての子どもの学ぶ力の育成を図る。
- (III) すべての子ども、とりわけ困難な状況にある子どもの生きぬく力の礎となる自尊感情の育成を図る。
- (IV) 子どもを中心に、学校や教育、授業等のあり方について語り合い、高め合う教職員集団を目指す。
- (V) 地域の特色を生かしたコミュニティスクールの充実を目指すとともに、学校・家庭・地域の協働による学校づくりの推進を図る。

【重点項目と具体的方策】

(1) 相互につながり合い、主体的に社会に参画する子どもの育成

- ①校内研究の充実
  - ・特別活動に関する校内研究を全職員で行い、子どもによる自治活動の充実を目指す。
  - ・学級活動(1)を充実させることで、意見を出し合って合意形成に向う経験を積むとともに、子どもの相互理解を深め、心理的安全性を実感できる学校・学級経営を目指す。
- ②子ども主体の取組
  - ・児童が主体となった生活目標の取組の推進
  - ・「学校づくり」を視野に入れた委員会活動の充実
  - ・積極的な縦割り活動の深化

(2) すべての子どもの学ぶ力の育成

- ①基礎・基本の定着
  - ・朝読書、朝の会のスピーチ、音読やドリルなどの反復練習、家庭学習などの継続的な取組
  - ・低学年における読み優先の漢字教育の推進・親子読書の推進
- ②授業における学習規律・学習習慣の定着
  - ・「授業チェックリスト」をもとに、学習習慣や生活習慣を見直し、各学年の課題に応じた目標を立てて改善に取り組む。
- ③読み解く力の育成に向けての取組
  - ・形成的評価の充実および授業改善による学ぶ力の向上
  - ・第Ⅳ期彦根市学ぶ力向上推進プランに即した高宮小スタンダードの構築
  - ・学習や活動の目標や振り返りなど、自分の考えや思いを整理して記述する活動を積極的に取り入れる。
- ④協働的な学びの充実
  - ・学び合いを通して、すべての子どもの学びを保障する授業づくりをすすめる。
  - ・すべての教科等を通じて、協働的な学びを重視する。
  - ・学級会で身につけた話し合いスキルを教科学習等に生かす。

(3) 多様性の包摂と一人ひとりの自尊感情の育成

- ①日常生活における人権意識の高揚
  - ・身近な問題について知り、考える環境づくり(高宮人権の日)
  - ・違いを認め合い、弱さを出し合える集団づくり
  - ・一人ひとりが安心して過ごすことのできる居場所づくり
  - ・自己効力感や自己有用感を味わうことのできる出番づくり
  - ・特別支援教育、にじいろルーム、日本語指導教室、通級指導教室の充実および違いを知り、認め合い、支え合う教育の推進
  - ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応(組織対応)
- ②豊かな心を育てる道徳教育の充実
  - ・生活や体験に結びつけた特別の教科道徳の授業づくり
  - ・読書指導や家庭読書の充実、対話型朝鑑賞の推進

(4) 支え合い、高め合う教職員集団の深化

- ①教職員の専門性・指導力の向上
  - ・校内研究の充実と積極的な自己研修(一人一授業公開)
  - ・OJT推進リーダーによるOJTの充実
- ②教職員の人権感覚・意識の向上と危機管理能力の育成
  - ・人権問題職場研修、不祥事防止研修、防災訓練等の充実と、学校安全管理体制の整備、教職員の危機管理能力の育成
- ③働き方改革の推進
  - ・子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の追求

(5) 学校・家庭・地域の協働による学校づくりの推進

- ①地域に根ざした学校づくりの推進
  - ・職員が地域を知るための職員研修の実施
  - ・学校運営協議会の効果的な推進
  - ・地域の未来を育む 学校応援プロジェクトの推進
- ②家庭・地域への積極的な情報発信と信頼関係の構築
  - ・学校通信や学校HP等の内容の充実ときめ細かな対応
- ③保幼小中連携の推進
  - ・かけはしプログラムや教科担任制の積極的な導入
  - ・彦根中学校区生きぬく力の礎育み事業の推進